

## ■■やらせはせんぞの防犯対策■■

会場内で時折耳にする『スリ、置き引き、釣銭詐欺の被害が…』という注意喚起放送、あるいは会期中3回の一斉点検放送。これらをアナタは他人事のように聞き流してはいないだろうか？

しかし、残念なことだが実際に会期中にこれらの犯罪行為は行われているし、被害者となってしまった際にも、受けた損害を取り戻すことは非常に困難である。

行われる犯罪行為の全てを取り締まるのはほぼ不可能といっているが、参加者全員で注意を強化して犯罪や被害の発生を可能な限り未然に防ぐことはできる。

被害に遭ってしまってから嘆くよりも、まずは被害に遭わない工夫を、そして犯罪行為をさせない注意を、1人でも多くの参加者に共有してほしい。

■注：この記事では文字数と読みやすさの都合上、財布、携帯電話器、携帯ゲーム機、コンパクトカメラ、タブレットPCなどをまとめて【貴重品】と呼称します。

### ■意外と多いスリ被害■

会期中の注意喚起放送での順番がそうであるように、会場で発生している件数が最も多いと思われるのがスリ行為だ。スリと聞くと、時代劇やドラマなどからのイメージで接触した一瞬の早業を想像しがちだが、実際にコミケット会場で多発しているのは、開けっ放しのバックやバックパックの一番上にぼんとただ載せてある貴重品を、持ち主に気付かれないように持ち去るという手口だ。

こういった貴重品の持ち方をしていた場合、無くなっていることに気がついても、単に落としたのか盗難されたのかを判別するのは困難で、現実問題として無事戻ってくる可能性は低い。

まずは貴重品をしっかりガードして持ち歩く習慣を身につけよう。寸暇も惜しい会場内では、取り出しやすさを優先したいのはわかるが、なにも盗人にまで簡単にしてやる必要はないのだから。

### ●スリ予防Tips

□本や戦利品を入れるバックに貴重品を一緒に入れない。

□たとえファスナーやボタンで閉じられる構造になっていても、バックパックやバッグの外側のポケットには、貴重品を入れない。バックパックは身体の前に抱えるか、会場内では頻繁に使わない物だけを入れてしっかり閉じて背負う。

□本などの購入資金は専用の財布にまとめ、カードや証書類が入った普段持ち歩いている財布は交通費や雑費を入れてバッグの奥にしまっておく。ただし購入資金を銀行の封筒などに入れて持ち歩くのはやめよう。万一落としたり、スリに遭った場合でも、特徴のない封筒では自分の物であることを証明しづらい。

□長い財布をズボンの後ろポケットに入れるのは落としやすく抜き取りやすいので会場内では絶対避けよう。買い物用の財布にはチェーンや丈夫な紐などを取り付け、ベルトやバッグに留めておくと財布を落としたり、抜き取られたりした際にも気づきやすい。



### ■誰もが危ない『迷惑撮影』『不同意撮影』■

コスプレイヤーに無理なポーズを要求したり、過度に下方にカメラを構えてミニスカートの中を撮影しようとするといった、ある意味分かりやすい行為ももちろんだが、基本的に被写体の性別や立場、撮影に気付いている、いないなど一切関係なく、相手が撮影されることを承諾し、明確なかたちで許可を下していない状況での撮影は、立派な迷惑行為である（コミケット準備会の公式な記録撮影班を除く）。

被写体が人間の場合に限らず、コスプレの衣装だけ、同人誌などの頒布物の内容や表紙、サークルスペースのディスプレイといったものでも、当然ながら許可を得ず撮影してはならない。

今や写真はネットに上げられたら世界中に拡散し、消去するのは不可能である。その意味で行為の気軽さに比べ、被害者側のリスクが非常に大きい行為だと言える。

迷惑撮影に対して大切なのは被写体側の『写して欲しくない』という意思であり、レンズを向けられたことに気付いたら（できれば周囲の参加者にも伝わるように）素早く、ハッキリと声と態度に現わして、『撮らないで！』と撮影拒否の旨を伝えよう。

サークルならあるいは、卓上に『撮影禁止』のポップを張っておくのも一定の効果は期待できる。